

ULT通信

あると

2016. 11. 21号 / vol. 67 発行 / ULT 図書館司書

11月はULTの読書月間！本を手にする理由は人それぞれですが、「読んで良かった」と思える本と出会えたらいいですね。年内のULT通信は今回が最後です。次回は2017年にお会いしましょう。

何人知ってる？ 文豪ブーム到来！



最近、日本の昔の作家たちが漫画チックなビジュアルでイラスト化された本が目立ちます。ブームを率先するのは『文豪ストレイドッグス』でしょう。実在の文豪をモチーフにした探偵たちが活躍する異色のアクション漫画 (ULTにはありません)。小説やアニメなど様々なメディア展開がなされ、大きな人気を得ています。今回は、作中に登場する文豪たちをピックアップしてみました。掲載作品は作者の代表作のひとつです。お気に入りの文豪を探してみてください！* ()内は生年と没年です。

中島敦(1909-1942)
『李陵・山月記』



泉鏡花(1873-1939)
『歌行燈・高野聖』



江戸川乱歩(1894-1965)
『屋根裏の散歩者』



太宰治(1909-1948)
『人間失格』



芥川龍之介(1892-1927)
『羅生門・鼻』



森鷗外(1862-1922)
『キタ・セクスアリス』



国木田独歩(1871-1908)
『武蔵野』



中原中也(1907-1937)
『中原中也詩集』



夢野久作(1889-1936)
『ドグラ・マグラ』



宮沢賢治(1896-1933)
『銀河鉄道の夜』



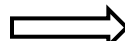
梶井基次郎(1901-1932)
『檸檬 改版』



与謝野晶子 (1878-1942)
『みだれ髪』



教科書でおなじみの名前がずらりと並んでいますね。紹介したのは、「文豪ストレイドッグス」に登場する作家のほんの一部です。他にも、尾崎紅葉や樋口一葉なども登場しています。興味をもった作家がいたら人物事典でチェック！皆、激動の時代を生きた先人達です。



ULT NEWS

●図書委員作成「ワンフレーズしおり」投票受付中！

ULTで本を借りると、返却日が書かれたしおりを渡されます。しおりには、図書委員が本の中から選んだフレーズやイラストが描かれ、投票で選ばれたしおりは1年間使用されます。来年1月から使用するしおりを選ぶための投票が11月15日から行われています。

場所はULT2階の参考資料室です。期限は11月30日(水)までです。図書委員以外の投票も大歓迎！



新着案内

10月の新着は152点です。一部抜粋で紹介します。

↓話題のベストセラーから芥川賞受賞作まで！



タイトル	著者	請求記号
天才	石原慎太郎	913.6-イシ
超高速!参勤交代リターンズ (講談社文庫)	土橋章宏	913.6-トハ-2
掟上今日子の家計簿	西尾維新	913.6-ニシ-7
望郷 (文春文庫)	湊かなえ	913.6-ミナ
コンビニ人間	村田沙耶香	913.6-ムラ

↓図書委員が選んだ「健康と安全に関する本」コーナーの新刊です。

タイトル	著者	請求記号
わが子のスマホ・LINEデビュー安心安全ガイド	小林直樹	367.61-コハ
東京防災：今やろう。災害から身を守る全てを。	東京防災	369.3-トウ
災害対応ハンドブック	野呂雅之ほか	369.3-ムロ
新しい栄養学と食のきほん事典：安心・安全・健康を支える	井上正子	498.5-イノ
中高生のためのケータイ・スマホハンドブック	今津孝次郎	694.6-イマ



↓コミックス最新刊入りしました。さらに『聲の形』『かくかくしかじか』も！



タイトル	著者	請求記号
3月のライオン 12	羽海野子カ	726.1-ウミ-12
聲の形 1~7	大今良時	726.1-オオ-1~7
コウノドリ 15	鈴木木ユウ	726.1-スス-15
かくかくしかじか 1~5	東村アキコ	726.1-ヒカ-1~5

コラムde!!



第67回は笹木が担当です。テーマは「お年寄りが活躍する本」。

10月からテレビアニメが始まり、来春には実写映画の公開も決まっている『3月のライオン』を選びました！『3月のライオン』は「ボーイ・ミーツ・ガール」の物語としても読めるので、読書月間の特集展示でも紹介しています。

主人公の桐山零は、幼いときに家族を自動車事故で亡くし、一人ぼっちになってしまった少年。行くあてのない零を引き取ってくれたのは、亡父の友人でプロ棋士の幸田でした。幸田家に将棋の内弟子としてお世話になることになった零は、自分の居場所を確保するため、一心に将棋に打ち込みます。しかし、才能を現していく零は、義理の姉弟に疎んじられ、同級生から変わり者扱いされ、さらに孤独を深めていきます…。孤独になるほど、将棋だけが自分の存在が認められる場所と、すぎるように将棋にのめり込んでいくのです。

努力が実り、零は中学生にしてプロ棋士に。自ら動き出した零には数々の素晴らしい出会いがあり、成長していく姿は涙なしには読めません。けれど今回のテーマは「お年寄り」。実力がものを言うプロ棋士の世界には、零のような若い棋士もいれば、大ベテランの棋士もいます。8巻で描かれる「棋匠戦」では、御年66歳のタイトルホルダー・柳原棋匠の激闘に胸が熱くなります。かすむ目、痛む肩や腰、震える指。肉体の限界はとうに超えていながら、同世代の友人や辞めていった棋士仲間の思いを背負って戦い続ける柳原棋匠は本当にかっこいい！年配者のヒーローであり、若者の憧れです！！

将棋は私にとって未知の世界でしたが、本の中で出会うと、身近なものに思えるから素敵です。次のお題は「知らない世界を教えてくれる本」にします。